

# 資料 3

## 委員意見対応表

●第3次安芸高田市総合計画基本計画に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
<ul style="list-style-type: none"><li>・【目指す姿】では「多様な主体が協働する地域社会」を謳っているが、【主要な取り組み】では「声を市政に反映させる」となっている。文言から受け取れるメッセージは、「市民の声を聞いて行政が動く」というもの。協働とは、①まず課題(目的)を共有し、②相互に協力しながら目標に向け行動するものを捉える。そのためにも行政は制度・資金の整備、民間は実践・アイデア・地域知の提供 などの役割を整理して認識を揃える必要があるのではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・課題及び主要取組を修正することで対応します。</li><li>・【課題】文章の修正</li><li>・市民との対話による協働のまちづくりをさらに進めるには、多様な声を市政に生かしていくことが必要です。</li><li>⇒市民との対話による協働のまちづくりをさらに進めるには、課題を共有し相互に協力しながら目標の達成に向けて、行動することが必要です。</li><li>・【主要取組】文章の修正</li><li>・対話集会等を継続的に開催し、市民の多様な声を市政に反映させることで市政に対する信頼感を高め、市民と行政の対話による協働のまちづくりを推進します。</li><li>⇒対話集会等を継続的に開催し、課題を共有し、相互に協力しながら目標の達成に向けて行動することにより、市政に対する信頼感を高め、市民と行政の対話による協働のまちづくりを推進します。行政は制度・仕組みを整備し、市民は実践・アイデアを提供し、公民連携により資金を確保していくことが重要です。</li></ul>	有	2頁	18行目 26行目
<ul style="list-style-type: none"><li>・目標指標に「行政は、地域のことを真剣に考えている…」とあるが、この指標を追えば、結果的に行政依存を強めることになるのでは…と懸念する。信頼されることは大事だが、「自分たちの地域を自分たちで動かす」と言う意識をいかに高めるかも指標に加えるべきでは…。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・目標指標に追記することで対応します。</li><li>・【目標指標及び目標値】目標指標の追加</li><li>⇒「私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」と回答する市民の割合</li></ul>	有	3頁	16行目
<ul style="list-style-type: none"><li>・公共施設の最適化は、地域の暮らし・関係・活動の最適化と言える。単に施設を減らすことでなく、「再編成と再生」のプロセスで、再興のきっかけとなるようなイメージを持って事業を進めていただきたい。（書き振りに反映を願う）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・主要取組を修正することで対応します。</li><li>・【主要取組】文章の修正</li><li>・都市機能の集約や公共施設等の最適化、支所機能や利用料金の見直し等を計画的に進め、広域連携による行財政負担の軽減を図りつつ、人口減少下においても安定した行政サービスの提供と健全な財政基盤の確保を図ります。</li><li>⇒都市機能の集約や公共施設等の最適化を図り、公民連携により、地域に適した公共施設等の用途や運営主体を検討します。支所機能や利用料金の見直し等を計画的に進め、広域連携による行財政負担の軽減を図りつつ、人口減少下においても安定した行政サービスの提供と健全な財政基盤の確保を図ります。</li></ul>	有	4頁	17行目
<ul style="list-style-type: none"><li>・認知が高まれば参画する、と考えるのは早計ではないか…。優先順位としては中身の充実が先で、「●地域振興組織の活動支援」を先に重点的に推進すべきと思われる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・●地域振興組織の活動支援を一番最初に持ってくることで対応</li></ul>	有	9頁	31行目
<ul style="list-style-type: none"><li>・【目標指標】は自主防災組織の人口カバー率となっているが、【課題】では「担い手不足」が指摘されている。対応した目標設定が必要では？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自主防災組織の担い手は、地域振興会の活動に参画している市民と想定されます。このため、地域振興会の活動に参画する市民が増えれば、自主防災組織の担い手確保にも繋がると考えており、施策①地域振興組織等による住民自治のまちづくりで対応していきます。</li></ul>	無	13頁	1行目
<ul style="list-style-type: none"><li>・内水被害対策について具体的な目標を示してほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・国・県等と協議中であり、具体的な目標が書ける段階にはないため、関連計画等で江の川流域水害対策計画を追記することで対応します。</li><li>・【関連計画等】計画を追加</li><li>・「江の川流域水害対策計画」（令和6年3月）</li></ul>	有	13頁	9行目

●第3次安芸高田市総合計画基本計画に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・鉄道駅からの接続の言及はあるが、高速バスからの接続は課題ではないか？	・高速バスからの接続も課題であるため、以下のとおり修正します。 【課題】文章の修正 ・しかし、現状の公共交通ネットワークは、鉄道駅・バスセンターから2次交通（市内移動への公共交通）への接続が弱く、観光等市外からの訪問者や市外への通勤・通学者にとっては、利便性が高いとは言えません。	有	14頁	17行目
・運行管理の一元化・自動化←が課題として挙げられているが、対応はどうなるのか？ 課題に挙げられているが、主要取組に言及がない。	・主要取組を加筆することで対応します。 【主要取組】文章の修正 ・JR芸備線沿線のまちづくりやお太助ワゴンの利便性向上、交通結節点の待合環境の改善、共同経営、運行管理受委託、自動運転の導入検討などを通じて、市民や観光客が利用しやすい公共交通体系を構築し、将来にわたって持続可能な移動手段を確保します。	有	14頁	32行目
・教育委員会も含めるべきでは？ 教育委員会として学校教育の場で今後ますます増えるであろう外国にルーツのある子ども（特定技能2号へのビザ更新をすると家族滞在が認められるため、本国から子どもを連れて来る人が増える可能性がある）への対応をどのようにするか具体的に示すべきだと思う。	・17頁11-12行目に「学齢期の外国人市民が学業に支障をきたさないよう教育現場での多言語化や放課後学習の充実を図るとともに、外国人市民への日本語学習機能を提供します。」と記載しているため、教育委員会学校教育課も関係してくるため追加することで対応します。ただし、最終的に【 】の課名は削除いたします。 【主要取組】取組に追加 ●外国人を含む市民の生活安心サポート【市民部 社会環境課】 ⇒●外国人を含む市民の生活安心サポート【市民部 社会環境課、教育委員会 学校教育課】	有	17頁	9行目
・「どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」とあるが、意見の相違は生じる。受け入れ難いものも存在する。大事なものは無視するのではなく”受け止め”対話する姿勢だと思うが…。	・基本構想では、市に関わる多様な人々の価値観を「肯定的関心（相手の意見や行動を評価せずに、そのまま受け入れようとする姿勢）」を持ってとらえ、合意形成を図っていくことを、将来像に位置付けています。肯定的関心⇒合意形成の流れが、受け止め対話する姿勢であると認識しています。 ・本来、合意形成や対話の状況を測定可能な既存指標があれば良いですが、存在しないため、市民の肯定的関心进行评估可能な「この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」を目標指標として設定します。  (参考) 基本構想 将来像 ー安芸高田市らしさの伝承ー 市に関わる多様な人々の価値観を肯定的関心（注1）を持ってとらえ、合意形成を図り、行動することで次の展開に進み、それを周りの人に共有していくことが、安芸高田市らしさの伝承につながります。  注1：相手の意見や行動を評価せずに、そのまま受け入れようとする姿勢	無	17頁	22行目
・16ページの表10にもある通り、「若者が楽しめる場所が少ない」、「同じ市内でも他町の人とかかわる機会が少ない」、「母同士が交流できる場所がほしい」という意見が出ていることを反映して、若者が楽しめるような賑わいの創出に取り組んでもいいのでは？	・主要取組に加筆することで対応します。 【主要取組】文章の修正 ●多様な出会いを支える婚活支援の推進【企画部 政策企画課】 マッチングアプリ導入や、交流イベント等の婚活支援の検討を進め、多様な出会いの機会づくりを促進します。 ⇒マッチングアプリ導入や、交流イベント等の婚活支援の検討を進め、若者が楽しめるような多様な出会いの機会づくりを促進します。	有	21頁	30行目

第3次安芸高田市総合計画基本計画に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・「市と関わりを持ちたい人」という表現に違和感がある。売り込み目的以外でそんな人がいるのだろうか？	・「市と関わりを持ちたい人」の表現を修正することで対応します。 【主要取組】文章の修正 ●関係人口・移住希望者とつながる拠点づくり【企画部 政策企画課】 市に関心を持つ人や、移住希望者が欲しい情報（空き家情報、移住支援、起業支援、仕事情報、企業・産業情報、教育関連情報、公共交通情報、観光情報等）を集約し、コンシェルジュを配置して、種々の相談にワンストップで対応できる拠点を道の駅等の拠点施設につくります。	有	21頁 24頁	6行目 28行目
・市外の方への賑わい創出は記されているが、市内の方への賑わい創出が示されていない。市内の方が安芸高田市に住んでいて楽しいと思える環境づくりも必要では？	・主要取組を修正することで対応します。 【主要取組】文章の修正 ●通勤者の地域参画と愛着形成の促進【産業部 商工観光課、企画部 政策企画課】※重点的に推進する取組 市外通勤者に対し、地域イベントや交流機会の情報発信を強化し、空き家活用など地域資源への関心を高めることで、地域への愛着と関与を深めます。 ⇒●通勤者等の地域参画と愛着形成の促進【産業部 商工観光課、企画部 政策企画課】※重点的に推進する取組 市民や市外通勤者等に対し、地域イベントや交流機会の情報発信を強化し、空き家活用など地域資源への関心を高めることで、地域への愛着と関与を深めます。	有	21頁 24頁	24行目 32行目
・改修・修繕の計画があれば【関連計画等】として示すべき。なければ計画作成を【目標】に加えるべき。	・安芸高田市個別施設計画として整理しているため、関連計画等の追記します。 【関連計画等】計画を追記 ・安芸高田市個別施設計画 公共施設編（2023年12月改訂）	有	25頁	18行目
・施策目標②に施策分野としてスポーツは含まれているが、生涯学習（クラフトワーク、音楽、ダンス等）や文化についてはどこかでカバーされているのか。	・文化は、51の観光分野に掲載していますが、生涯学習は、含まれていないため、②市民が暮らしやすいまちづくりに追加します。 【誰もがスポーツに親しみ、スポーツへの関心を高めることができる機会の創出】主要取組の追加 ●生涯を通じた学びの推進【教育委員会事務局 生涯学習課】 生涯学習センター等を中心とした地域における生涯学習を推進し、世代を超えた交流や学び合いにつなげていきます。	有	27頁	5行目
・文化・芸術の振興に関する言及がない（審議会でも述べたが…）。加えるべき。	・上記の対応とします。	有	27頁	5行目
・子育て支援センターを拠点にした施策は検討されているが、子育て支援センターを将来的にどうしていきたいかについては検討しないのか。ネウボラの充実などがあげられる。	・子育て支援センターについても検討しているため、以下のとおり修正します。 【安心して産前産後期間を過ごせるための支援】主要取組の文章の追加 ●切れ目のない子育て支援の推進【福祉保健部 健康こども未来課、児童保育課】 子育て支援センターを拠点に、子育てをする全ての方の声に耳を傾け、対話することを基本とし、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへの一体的な支援を行います。	有	33頁	5行目

●第3次安芸高田市総合計画基本計画に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・現状、学校運営協議会は存在しているが、コミュニティ・スクールとしての取組が見えていない。 計画があれば【関連計画等】で示す。なければ計画作成を【目標】に加えてほしい。	・教育委員会が策定する計画はなく、コミュニティ・スクールについては、個別に学校が年間計画をつくり、取り組んでいます。	無	37頁	34行目
・企業誘致を戦略的に推進し、とあり、デジタル系企業の誘致を重点項目とするが、地域の強みや将来ビジョンとの関連性はどうか？ 現在、特にデジタルに力を入れた教育・人材育成が行われているようには思えない。将来的にデジタル分野が市の産業をリードするビジョンなのか？ “戦略的”とあるが、どのような戦略なのか？	・広島県がデジタル系企業等の県内への進出を促進しており、県の政策と連携する形でデジタル系企業の誘致を行います。 ・デジタル分野が本市の産業をリードするとは考えておらず、移住・定住の障壁が比較的小さい（例：働く場所を問わない等）と想定されるため、ターゲットとして掲げています。 ・戦略性については、企業を誘致するだけでなく、当該企業の社員が地域とのつながりを持ち、まちづくりにも関わってもらえるような仕掛けを検討します。	無	43頁	21行目
・大型商業施設の誘致とあるが、商圈人口・購買力、安定した顧客基盤があるか、と言えば疑問。 労働力についても大きな余力があるわけではない。どのような勝ち筋があるのか？ 基本計画に載せることで期待は高まり、議会等の追及もありうるが、大丈夫なのか？	・政策統括監を新設し、企業誘致を特命しており、計画期間4年間で誘致を目指します。	無	42頁	23行目
・耕作面積の縮小を防ぐため…、農地を守っていく体制づくり…とあるが、この施策体系では「稼げる農業の実現」を掲げている。稼げるのであれば必然的に農地は守られるはずである。「農地を守る」ことが目的であれば、施策としては分けて考えた方がよいのでは… “稼ぐ農業”の文脈の中で9~11行目は違和感がある。	・現状を修正することで対応します。 <b>【現状】文章の追加</b> ・耕地面積の縮小を防ぐためには、一定程度の規模の農家を増やす必要がありますが、大規模経営には高額な初期投資が必要です。小規模農家や兼業農家を含めて、農地を守っていく体制づくりが必要です。 <b>農業産出額は横ばい傾向にあり、稼げる農業の実現を図るためには、高付加価値な農業を推進することも必要です。</b>	有	47頁	10行目
・【目指す姿】で「ブランド化・販路拡大」を謳いながら、「地域経済循環率を高めること」を主要取組に挙げることに矛盾を感じる。 地域経済循環率といえば、生産と消費が域内で循環するものが想定される。販路は外に拡げるのではないのか？ もし堆肥などの循環型農業を目指すのであれば、そのように表記すべきと思う。また地域経済循環率云々は産業全体で語られるべきで農業だけで計れるものではないのではないのか。さらに地域経済循環率が高まったからと言って農家が稼げることに直結はしない。	・地域経済循環率とは、地域内で生み出された付加価値「生産」が、どれだけ地域内で「所得」として分配され、さらに消費や投資や「支出」となって再び地域内に還流しているかを示す指標です。例えば、生産の高め方として、地域外への販売（販路開拓・観光客による消費等）があげられます。生産が高まれば、所得も向上していきます。 ・地域経済循環率を高める上で、農業だけではなく、観光等も含めて取組を検討しています。	無	47頁	4行目



●第3次安芸高田市総合計画基本計画に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・「有害鳥獣対策」は付加価値を高めることにはならないのでは…	・有害鳥獣対策は独立した一つの主要取組として整理します。 【主要取組】追加 ●有害鳥獣対策の推進 鳥獣を寄せない（環境改善）・入れない（防護）・捕まえる（捕獲）の3本柱と共に、資源の有効活用を基本とした対策を推進します。	有	48頁	21行目
・農業算出額となっているが「純付加価値額（農業）」(e-stat)の方が適当ではないか？	・経済センサスの純付加価値額（農業）は、個人で農業を行っている方が含まれないため、経営規模に関わらず、一定の基準を満たすすべての農林業経営体を対象としている農業産出額を目標指標として設定します。	無	48頁	27行目
・言いたいことが捉えにくい 人工林率約3割は民有林の中で30%なのか？ ヒノキが主でスギなどはほとんどない、と言いたいのか？ 民有林38,662ha×30%(人工林率)=11,598ha－10,764ha(ヒノキ)＝834ha(スギ)という理解でよいか？	・人工林率約3割は民有林面積の約3割という意味です。 ・基礎情報としての記載をしていますが、以下のとおり文章を修正します。 【現状】文章の修正 ・民有林面積は38,662ha、そのうち人工林面積は10,764haで、民有林面積に占める割合は約3割となります。	有	49頁	8行目
・宿泊施設の誘致もある意味企業誘致だが、43ページに残すとしても、50ページにも加えるべきでは？デジタル企業の誘致は商工観光課だが、宿泊施設の誘致、企業・商業施設の誘致は総務課でよいのか？	・産業部商工観光課も関係するため追記することで対応します。 【主要取組】取組に追加 ●宿泊施設の誘致【総務部 総務課】 宿泊施設の誘致を進め、観光振興を図ります。 ⇒●宿泊施設の誘致【総務部 総務課、産業部 商工観光課】 宿泊施設の誘致を進め、観光振興を図ります。	有	44頁 52頁	5行目 33行目
・上で記したように宿泊施設の誘致も加えるべきでは？ 資源を掘り起こしても知らなければ意味がない。観光プロモーションも取り組むべきでは？	・宿泊施設の誘致は再掲することで対応します。 ・観光プロモーションは、55：（3）プロモーションの推進で対応済みとさせていただきます。	有	52頁	33行目
・改修・修繕の計画があれば【関連計画等】で示すべき。なければ計画作成を【目標】に加えるべき。	・安芸高田市個別施設計画として整理しているため、関連計画等の追記します。 【関連計画等】 ・安芸高田市個別施設計画 公共施設編（2023年12月改訂）	有	53頁	4行目
・観光施策の目標指標が”市民”の満足度でよいか？	・誤植のため削除します。	有	53頁	1行目

●第3次安芸高田市総合計画基本計画に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・「②行政サービスの効率化・質の向上を強化（主として地域目線）」の具体施策の方針に、新たに取組を開始した「郵便局と連携した市役所窓口業務の実施」を追記してはどうか。	・新たな取組を追記することで対応します。 【デジタル化の具体施策の方針】取組の追記 ②行政サービスの効率化・質の向上を強化（主として地域目線） 行政手続きのデジタル化による生活サービスの質の向上の具体施策の方針の最終行に追加 ⇒郵便局と連携した市役所窓口業務の実施 等。	有	56頁	34行目
・横断的な政策手段について、「デジタルの推進」はGISの活用（医療データ、お太助ワゴン等）、「プロモーションの推進」はポータルサイトへのアクセス手法についてそれぞれ記載するのはどうか。	・②行政サービスの効率化・質の向上を強化（主として地域目線）を対象として、以下のとおり修正します。 【デジタル化の具体施策の方針】表中に追加 地域へのデジタルの導入の具体施策の方針の最終行に追加 ⇒各種取組の基盤として、オープンデータ化を推進 等	有	56頁	32行目
・プロモーションにハンドボールについても加えてほしい。	・市民アンケート調査において、「120年後の未来、あなたが次世代（子ども・孫世代）に受け継いでいきたい安芸高田市ならではの価値観」として、毛利元就の歴史・文化、神楽、サンフレッチェ広島が上位に該当しています。 ・安芸高田市が誇る地域資源について、地域バランスを考慮すると多くの地域資源をあげることになり、伝えたいことがぼやけるため、市民アンケート調査結果も踏まえつつ、「毛利元就の歴史・文化、神楽、サンフレッチェ広島等」の記載とします。	無	57頁	22行目
・アウトプロモーションが漠然としていてイメージしにくいと思う。どのような手法でプロモーションをするのか具体的にすべきでは？ 表の観光客の誘致や観光客の交流促進がアウトプロモーションにつながるのか？ つながるのであれば、どうしてそれがプロモーションにつながるのかを示すべきだと思う。20行目のふるさと納税等を活用した情報発信等という箇所についても、どうしてそれがプロモーションにつながるのかわからない。もう少し、具体的な方法を示すべきだと思う。	・プロモーションの具体的方法を示すことで対応します。 【プロモーションを推進する上での視点】文章の修正 ・プロモーションを推進する上での視点は、以下のとおりです。インナープロモーション・アウトプロモーション共通して、市内外の多様な主体が、能動的に本市の魅力を発信したくなるような仕組みも構築します。 【インナープロモーションの推進】文章の修正 ・市民に対して必要な情報を適切なタイミングで届けるとともに、アウトプロモーションによる対外的な評価の共有、市民と行政がともに市の未来を考える機会を創出し、市民の本市への誇りや愛着を高め、まちづくりへの能動的な参加を促していきます。 ⇒市民に対して必要な情報を適切なタイミングで届けるとともに、アウトプロモーションによる対外的な評価や成果を共有し、市民と行政がともに市の未来を考える機会を創出します。 こうした取組を通じて、市民の本市への誇りや愛着を高め、まちづくりへの能動的な参加を促進します。 【アウトプロモーションの推進】文章の修正 ・毛利元就の歴史・文化、神楽、サンフレッチェ広島などの安芸高田市が誇る地域資源などの、ふるさと納税等を活用した情報発信等を通じて、本市の魅力や価値を市内外に発信し、観光客・関係人口の増加や民間投資を促進します。 ⇒毛利元就の歴史・文化や神楽、サンフレッチェ広島などの、安芸高田市が誇る地域資源を題材に、SNS、観光サイト、広報誌、メディア等を活用した情報発信を強化します。 市内外への認知度向上を図るとともに、観光体験やイベント参加を通じた来訪者自身による情報発信を促進し、交流人口・関係人口の拡大につなげます。 また、ふるさと納税を活用した返礼品や特設サイトでの発信を通じて、地域ブランドへの理解と共感を深め、再訪や再投資の促進を図ります。 こうした取組を通じて、観光客や関係人口の増加、民間投資の拡大を目指します。	有	57頁	12行目 17行目 23行目

●第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・基本目標4 実績値 →最新が2018となっているが、策定時2020の74.7%はいつの数字か？	・策定時2020の74.7%は2018年時点の値となります。 ・RESAS地域経済分析システムを活用しているが、計算過程で活用しているデータに更新があった場合、遡及修正等が実施されるため、閲覧時点により、同一時点の公表値であっても値が異なることがあります。 ・このため、地域経済循環率は短期のモニタリングには適さないため、第3次総合戦略では目標指標として位置付けていません。	無	2頁	8行目
・「外国人技能実習生」→「外国人」   ほかのページの表現と統一した方がいいのでは？	・「外国人技能実習生」→「外国人」に統一することで対応します。 <b>【基本骨格】文章の修正</b> ・安芸高田市は外国人技能実習生が増加傾向 ⇒安芸高田市は外国人が増加傾向	有	4頁	表2
・デジタルを活用した施策をイメージしていたが、あまりそのようになっていない。	・作成当初はデジタル田園都市国家構想交付金の活用を想定していたが、現在は交付金の種類が変わり、必ずしもデジタルを組み込む必要がなくなりました。但し、基本計画の横断的な政策手段としてデジタル化の推進を掲げているため、同じ内容を総合戦略にも掲載する方向で対応します。 <b>【基本骨格】横断的な政策手段を追加</b> ・公民連携の推進、デジタル化の推進、プロモーションの推進を追加	有	6頁	
・安芸高田市に通勤している市外在住者もターゲットにし、移住してもらうための取り組みが必要だし、3年間という短い期間でも成果が出しやすいと思う。	・市外からの通勤者もターゲットに追加します。	有	17頁	
・通勤者を関係人口に含めるのは難しいのでは？   目標指標が観光ナビへのアクセス数等なので、通勤者がそこにアクセスするのかは疑問である。通勤者は移住予備軍として、若者に選ばれるまちづくりのほうに移し、子育て世代や外国人と同じように、特別に取り上げて具体的な取り組みを実施すべきだと考える。25ページの図11の85.9%の安芸高田市への移住に興味がない人の割合を40%程度に減らしていく取り組みが必要だと思う。この方たちに安芸高田市に住んでもらうことこそ、もっとも即効性のあることだと思う。	・通勤者向けアンケート調査結果に基づくと、通勤者のうち、仕事以外における安芸高田市との関わりがあると回答する方は64%、そのうち23%の方が祭り等のイベントに参加していることから、関係人口のターゲットとしては残します。また、観光ナビにはイベント情報等も掲載していることから、観光ナビへのアクセス数で代替的に測定していくことを考えています。 ・市外からの通勤者については、基本目標1 若者に選ばれるまちづくりのターゲットにも追加することで対応します。	有	17頁	



●第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・住みやすいと思う【外国人】を”対象として施策を掲げ”とあるが、元々「住みやすい」と思う方を対象に施策を掲げて割合が上がるのでしょうか？意味を掴みかねております。	・「住みやすいと思う」を削除して、外国人の表記に修正します。	有	19頁	3行目
・LABV手法は、実際にできる場所（候補地）はあるのか。ここで記載すべき内容なのか。（書き方が真面目過ぎるのでは）	・具体的な手法の記載は削除します。	有	33頁	表24
・学びの場は子どもたちの可能性を拓くことを第一義とし、地域全体でそれを支えるものであってほしい。 ・大人がひたすら「帰ってきたい」と思えるような魅力的なまちづくりに邁進すべき。選択はあくまで子どもに委ね、結果的にそうなってほしいと願うが、スローガンとして掲げるは子どもたちへの足枷になるのではないかと懸念する。	・行政としては、帰ってきたくなる学びのまちづくりを推進しますが、子どもたちのUターンは人生における選択肢の一つであり、委員指摘のとおり、選択はあくまでも子どもに委ねられます。	無	28頁	1行目
・「未来チャレンジ探求学習の充実」、「小学校・中学校及び中学校・高校の連携強化」が漠然としすぎている。中学校・高校の連携強化では（例.高校生の出前授業）などのようにどのような取り組みをするのか例で示した方がイメージしやすいと思う。「地域学校協働活動コーディネーターの育成」もコーディネーターがどんな活動をするのかよくわからない。「教育の魅力化事業」に関しては、もう少し具体化すべきだと思う。	・取組内容について具体的な例示を示すことで対応します。 【具体取組】文章の修正 ●未来チャレンジ探求学習の充実 小学校3年生から中学校3年生まで、「一人一探究」を基本として、課題解決に向けた探究学習を進め、地域に発信することで地域とつながる機会の充実を図ります。 ●小学校・中学校及び中学校・高校の連携の強化 授業や行事等において、小学生・中学生、中学生・高校生の交流を促し、安芸高田市で学び続ける選択肢の充実を図ります。 ●地域学校協働活動コーディネーターの育成 小中学校を対象として、地域と学校との橋渡し役として活動する地域人材の育成を図ります。	有	35頁	表26
・コーディネーターはなかなか人間力の要る仕事と思われるが、こうしたものがあると思う。 ただ窓口に来る方は「あの…関係人口になりたいんですけども…」という方はいないので、観光案内所にその機能を付加するか、「まいまい京都」のようなツアー造成するか、「ひろしまジン大学」のように授業やゼミとして展開するか…。 コーディネート料の負担は訪問者か？受入側か？　そもそもコーディネート料を支払ってまで参加する人を集められるか？ いずれにせよハードルが高い事業とお見受けする。協力隊も3年間は国費が見込めるが、その後は見えているか？想定の良いものをリーディングプロジェクトとすると、総合計画の関連施策に影響が出るのでは…と懸念する。	・集客施設である道の駅に併設する形で、観光の取組だけでは拾いきれないニーズに対応することを考えています。 ・地域体験ツアーを造成し、料金設定等も検討し、関係人口案内所の収益化を目指すことを追記します。 ・人材確保では、国制度（地域おこし協力隊制度等）の活用を想定しており、当該人材が継続的に当該事業に関われるように関係人口案内所の収益化を目指すことを追記します。	有	34頁	表25

●第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・観光案内所と表記すると、「案内だけ？」となる。具体取組を見ると、観光資源の掘り起こしや体験活動の造成などを目的としているのかなと思うので、観光振興プロジェクトチームの立ち上げ等にした方がいいのでは？	・前頁の対応とします。	有	34頁	表25
・提供します。の主語はだれ？ 行政が主体ではないのであれば、“推進”などの表現に留めるべきではないか。（行政が主語であれば、蛇足でした。失礼します）	・民間企業との連携を想定しており、文章を修正します。 【施策】文章の修正 ●気軽に訪れ楽しめる体験型観光の創出 県内からの週末・短期訪問者に向け、親子で楽しめる体験コンテンツや歴史文化を活かした学びの場を整備し、日常から一歩離れた「非日常体験」の提供を推進します。	有	23頁	3行目
・知らないから参加しないのではない。仕事でもないのにやりたくもないことをやらされる。←関わりたくない。というのが本音ではなかろうか…。意義ある活動を率先して続けてこられた先輩方には感謝しかないが、駒として扱われることに抵抗を感じる方もいる。 参画を促すのであれば、発言のしやすさ、心理的安全性の確保、意思決定へ関与できる余地、対話による合意形成など、受け入れ態勢の整備も同時に必要ではないか。	・基本計画に掲載している地域振興組織の活動支援を追記することで対応します。 【施策】施策の追加 ●地域振興組織の活動支援 地域振興組織に参加することで、スキル習得、交流機会、地域貢献を実感できるような取組（地域イベントの企画参画、地域の未来を考えるワークショップ、地域課題の解決に向けた講座、若者が得意分野を発揮できるプロジェクト等）を展開し、多様な世代が地域振興組織に関わる仕組みづくりを進めます。	有	31頁	30行目
・書き振りから、振興会ありきと受け止めるが、“参加する意義を明確化”するのではなく、振興会の意義を明確化(再定義)すべき。 祭りや行事をこなす組織から、地域課題を共に考える組織へ。 上意下達でなく、多様な意見を受け止める会議文化へ。 地域に関わることが義務ではなく、“面白さ、学びになる経験、そして誇りへ”。 まずファシリテーター研修を導入するのがよいのではないかと…。と思います。もはや一般質問か…	・地域振興会のあり方は、現在別事業で検討中であり、以下の施策を追加することで対応します。 【施策】施策の追加 ●地域振興組織の活動支援 地域振興組織に参加することで、スキル習得、交流機会、地域貢献を実感できるような取組（地域イベントの企画参画、地域の未来を考えるワークショップ、地域課題の解決に向けた講座、若者が得意分野を発揮できるプロジェクト等）を展開し、多様な世代が地域振興組織に関わる仕組みづくりを進めます。	有	31頁	30行目
・リーディングプロジェクトの企業誘致の促進は何時代の話をしているのかと感じた。もう少し安芸高田市の強みを伸ばす等のリーディングプロジェクトになるべきではないか。本当にその取組によって若者に選ばれるまちになっていくのか。 また、33の市域振興会の新たな仕組みの構築もよいが、地域おこし協力隊等の新しい取組をリーディングプロジェクトにしもてよいのではないかと。（従来型に加えて目的型の事業にしてもよいのでは）	・若者が働ける・挑戦できる環境づくりとして修正します。	有	33頁	表24

●第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る委員意見と対応方針

委員意見	対応	修正 有無	第7回審議会資料	
			頁番号	行番号
・企業誘致をリーディングプロジェクトとしているが、相手のある事業で、行政単体では完結できない。これを先導的役割とすると、行き詰まった時に基本目標Ⅰが滞るのではないかと懸念する。見直しはあるのか。	・政策統括監を新設し、企業誘致を特命しており、計画期間4年間で誘致を目指します。	無	33頁	表24
・先の審議会でも意見が出たが、企業誘致が若者に選ばれるまちにするための具体的な取り組みかといわれると疑問が浮かぶ。もっと若者に直接働きかけのような施策のほうがいいのでは？	・若者が働ける・挑戦できる環境づくりとして修正します。	有	33頁	表24
・全体を通して誤字脱字がいくつかあったので、審議会はまだしも、パブリックコメントのために公開する前、数人体制でチェックをした方がいいと思う。	・パブリックコメントまでに文章全体を精査します。	有		
・空き家を活用して子育て世代のお試し暮らし 1. 空き家管理されている空き家を持ち主の了解を得て、古民家の良さを残して改築する。 それによって子育て世代に限らず、熟年世代にも移住したくなる様な魅力あるものにする。 このままでは空き家は、いずれ住むに堪えられなくなってしまいます。	・基本目標Ⅱ 第2のふるさとづくりのリーディングプロジェクトで、空き家を活用した子育て世代のお試し暮らしの施策を掲載しており、この施策で対応しています。	無		
・①関係人口を増加させよという観点から、吉田病院と協力し、安芸高田市階の方（県外もOK）、人間ドッグを吉田病院でして、その夜は神楽門前湯治村に泊まってもらって、楽しんでもらう。”安芸高田で心も体もリフレッシュ”パックをつくるのはどうか？	・ご提案のように、医療・観光を組み合わせたプランは、関係人口の拡大に資する有意義な取組と認識しております。本計画では、公民連携による関係人口の創出を推進する方向性を位置づけておりますので、今後の個別事業検討の中で参考にさせていただきます。	無		
・②住みやすい町、子育てなら安芸高田市というからには、やはり安芸高田市で産むことができるような町にしないとイケない。 関係機関と相談して、努力するだけではなく、ちゃんと出産できるようにする。夜間でも救急で小児をみてくれるようにすると、明記すること。	・ご指摘のように、『安芸高田市で産める体制』や夜間の小児救急への対応は、子育て世代にとって重要な視点です。一方で、本市では分娩を扱う医療機関がなく、医師確保や設備整備等、市単独では対応が難しいため、周辺市町との連携の中で、今後検討します。	無		
・③寺子屋安芸高田をつくる。小学2年生くらいから授業についてこれなくなる小学生がでてくるそう。土日などに先生のOB等にボランティアで市役所に出てきてもらい、全町あげて教育の底上げをはかる。	・具体的な事業化（寺子屋形式等）については、今後の個別事業の検討の中で、関係機関と連携しながら可能性を探ってまいります。	無		
・④芸備線の会合のトップも務められているそうなので、芸備線に乗って、市内へも来やすくするには帰りの列車に座ることができるように、JRと交渉してほしい。休日も含め夕方の快速を広島駅に入線させるのを今は発車5分くらい前にホームに入ってくるが、長い列がでてきて、座れるか不安で、乗る気になれない。たしかに、安芸矢口ぐらいまでいくとすぐか。発車20分くらい前に入線させて（下深川行きなどが入線前に）座れる雰囲気してくれると、少しは違うのでは。乗り鉄の私ですら芸備線に乗りたくないのは、帰りの座席が担保されていないからです。	・ご提案のように、芸備線の利便性を高めるための具体的な運行改善案は、利用促進の観点から参考になるご意見です。鉄道の運行ダイヤの変更等は、JR西日本の運行判断に関わる事項であることから、関係機関との連携・協議を通じて、ご意見の趣旨を共有しながら利便性向上を検討してまいります。	無		